



鶴ヶ島第一小学校
学校だより

学校教育目標
かしこく なかよく たくましく



ゆずりは

第 2 号

令和 8 年 7 月 1 4 日

【お話朝会】ルールを守るための『心のブレーキ』について

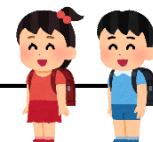
ルールを守るための

こころの
ブレーキ

1学期の終業式まで、あと少しとなりました。子供たちは、1学期の学習や生活のまとめを一生懸命取り組んでいます。特に、**一人一人の意識と行動で『みんなが笑顔で過ごせる』**ということを学ばせ、実感させています。

6月30日(火)のお話朝会では、**ルールを守るための『心のブレーキ』**についてのお話をしました。

(当日の話し言葉のまま掲載します。)



今日は、「**守るべきルール**」についてのお話をします。

先日の心の時間で担当の先生は、「ルールは、みんなが安全に、気持ちよく生活するために決められた約束です。」と仰っていました。例えば「廊下は走らない」「授業中は勝手に教室を出ない」等、守る約束のことを『ルール』と言います。

さて、皆さんは、心の時間のお話を受けて、行動ができていますでしょうか？1学期のまとめの時期だからこそ、一人一人が真剣に考えてください。

具体的に振り返ってみましょう。①廊下歩行 ②授業中での約束(聞く姿勢) ③休み時間の過ごし方(遊びのルール) ④給食の約束 ⑤掃除の約束(無駄なおしゃべり) ⑥放課後の約束(交通ルール・公共施設での約束)等

できている人は、小さな成長を実感できている人です。できていない人は、**一人一人の意識と行動で『みんなが笑顔で過ごせる』**ように頑張ってください。今年は、「**気づき・考え・行動する力**」の特に『**行動**』に力を入れています。

なりたい自分を目指すための『行動』とは、自転車に例えると「ペダル」です。行きたいところに行くために、自分の足でペダルを踏み込みます。だから、しっかり前に進むのです。でも「スピードを出しすぎて危ないときはどうしますか？そう「ブレーキ」を掛けますよね。この「ブレーキ」こそが、今日のお話の「**守るべきルール**」すなわち**やってはいけない時の『心のブレーキ』**を持つことが大切になります。

一つ一つの生活の中で、**ルールを守るための『心のブレーキ』**を意識して、しっかり掛けられるように、**『自分で気づき しっかり考え すぐ行動』**できる人になってください。これから、皆さんがしっかり意識して行動できているか？校長先生は見たいと思います。1学期の終業式の時にたくさん褒められるように頑張ってください。皆さんならできます！ いつも信じています！

最後に、「**みんな一人一人が、明日も楽しく学校へ行きたい！！**」と思える魅力的で温かい、すてきな学校をみんなと一緒に創っていきましょう！！

これで校長先生のお話を終わりにします。

『6年生の輝く姿』が見られた修学旅行！！



湯の湖

6月4日(木)・5日(金)に6年生は修学旅行で日光へ行ってきました。保護者の皆様には、当日までの健康管理等のご協力をいただきありがとうございました。台風心配がありましたが、2日間とも奇跡的に無事に全行程を終えることができ、思い出に残る最高の修学旅行になりました。子供たちは、この修学旅行で「一人一人の意識と行動で『みんなが笑顔で過ごせる』ことに感謝!!」を合言葉にして、『温かい心と心をつなぐ』ことができました。特に、

素晴らしかったことを3つ紹介します。

- ①自分のたてた「めあて」に向かって、最後まで「全力」で取り組むことができました。
- ②「困っている友達」や「気づいていない友達」にそっと優しい声掛けをすることができました。
- ③お世話になった全ての人に「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えることができました。

お世話になった皆様から「鶴ヶ島第一小の子供たちの態度は、大変素晴らしいです。」と、たくさんのお褒めの言葉をいただき、とても幸せでした。これからも『温かい心と心をつなぎ』鶴ヶ島第一小学校のよき伝統を下級生に、しっかり引き継いでほしいです！期待しています!!



日光東照宮陽明門



奥日光湯元源泉



華厳の滝



日光江戸村



「素敵な花壇になりました！ 感謝いたします。」

～ ありがとうございます ～

6月11日(木)の委員会の時に、園芸美化委員会の子供たちと、PTAの環境委員の皆様と一緒に花壇を整備していただきました。とても素敵な花壇になりました。

この日のために、PTAの環境委員の皆様には、早朝から準備をしてくださいました。学校のため、子供たちのために、お力をいただけることに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これからも鶴ヶ島第一小の子供たちのためにご支援・ご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

